

保護者のみなさまへ

「心を育てる」「意欲を育てる」応援をしてあげてください。

私は、子供の成長過程で重要なことは「意欲を育てる」ことであり、「心を育てる」ことだと思っています。「心が育つ」というのは、幸せを覚えていくことだと思っています。

厳しくしつづけるとか、我慢して努力するとか、それは幸せを知った心を作ってからやれば楽なはずです。運動で言えば基礎体力がついた状態だと言えます。

意欲が育てば、自ずと技術習得の練習に向かいます。

「ありのままの自分を受け入れてもらった経験」

→ 安定した心と、他人を受け入れる包容力がついてゆきます

「嬉しいこと、幸せなことを経験すること」

→ 「明日はまたいいことがある」と人生を信頼できるようになり、
将来のための我慢や、他人のための我慢が苦痛でなくなります

「自分の行為で、他人が喜ぶ経験をする」

→ 自分は、人の役に立てるという自信がつき、優しい人になります

何事も逃げずに、自分の心と向き合おうとしている人の方が一歩前に進んでいるのだと思います。

人の心は、「自分を肯定する心」（自分はできるんだ）によって育つのでしょうか。

スポーツに限らずどんな世界においても、意欲を育て、心を育てることができれば、きっとその子は伸びていくのだと思います。

その鍵を握るのは、やはり日常から接する親御さんの姿でしょう。親の後姿を見て子供は育っていきます。苦しいときでも、親御さんの真剣な接し方で、子供は安心して前に進めるのだと思います。

サッカーで言えば、子供にサッカーをとことん楽しませ、好きになるような工夫をしてあげてをお願いしたいと思います。自ずと教育的意味合いになることでしょう。

将来のゴンや井原を育てていくためにも、ぜひ意欲と心を育てるように接してあげてください。